

＜基礎法学＞

問題 26 次の行為のうち、自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律によって処罰対象とならないものはどれか。

- 1 アルコール又は薬物の影響により正常な運転が困難な状態で自動車を走行させる行為を行い人を負傷させる行為
- 2 自動車の運転に支障を及ぼすおそれがある病気として政令で定めるものの影響により、その走行中に正常な運転に支障が生じるおそれがある状態で、自動車を運転し、よって、その病気の影響により正常な運転が困難な状態に陥り、人を死傷させる行為
- 3 通行禁止道路を進行し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度で自動車を運転する行為
- 4 酒気を帯びて車両等を運転することとなるおそれがある者に対し、酒類を提供する行為(当該酒類の提供を受けた者が酒に酔った状態で車両等を運転した場合)
- 5 自動車の運転上必要な注意を怠り、よって人を死傷させる行為

問題 27 法の効力に関するア～オの記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- ア 米国人が日本国内で犯した窃盗について、わが国の刑法が適用される。
- イ 日本国外にある日本船舶内で米国人が犯した窃盗については、わが国の主権が及ばないので、日本の刑法の適用はない。
- ウ 日本国外で米国人がわが国の通貨を行使する目的で偽造した場合、わが国の刑法は適用されない。
- エ 日本国外で日本人が犯した強盗については、属地主義ではなく、属人主義が採用されている。
- オ 限時法とは、法の効力発生期間が予め定められている法を意味するのだから、限時法の効力が失効したのなら、失効後に、当該法律が適用されることはない。

- 1 ア・イ
- 2 ア・エ
- 3 イ・オ
- 4 ウ・エ
- 5 ウ・オ